

「他所」からみた「家」

客員研究員 三好 進祐（西予市役所）

私が、所属する西予市から財団法人えひめ地域政策研究センター（以下、「センター」）に向したのは平成21年の4月で、所属は調査研究部門でした。そして、2年目の平成22年度、組織の見直しにより調査研究部門とまちづくり部門がなくなった後も、なかなか「地域づくり」に関わる機会が少ない状況でした。しかしながら、県内の様々な活動を見聞きする機会が得られる「地域づくり人養成講座」には、業務の調整をしつつ参加させてもらっていました。

この講座では平成21年度、平成22年度と私の出身地である西予市において事業の一つが実施されましたが、この講座に参加したことは、「他所」であるセンターに出て、「家」である西予市をみる事ができる良い機会になったと思っています。

「家」から「家」、「他所」から「家」

「家」である西予市にいたときは、市全体をみているつもりでも、自分の住んでいる地域もしくは自分の業務の関係する地域し

かみておらず、活動そのものを比較する場合でも、他市町を含んだ広い範囲でみる事ができていませんでした。そのことに気付いたのは、平成21、22年度と出身地であ



平成21年度地域づくり人養成講座



る西予市で開催された講座で活動内容を学ばせていただいたときです。それまでは地域の活動そのものについては知っていましたが、正しい理解はできていなかったのです。

気付かされたのは、講座に参加することによって他市町の活動を見聞きする機会を得ることができたことと、センターで行う業務が県内全域をみながら実施する必要があることが理由だと思いますが、「家」である自分の地元でされている活動が、「他所」から見たとき、「家」から「家」をみていたときとは違い、他市町でされている活動と比較しても、遜色なく素晴らしい活動であり、誇れるものであるとの認識を得ることができました。

手前みそですが…

小見出しでもあるように手前みそではあります。西予市では平成21年度より、地域資源・特性のすばらしさを再発見し、住民の愛着や融和の情報共有すること、地域のつながりを一層強め、特色ある地域づくりを発展させることを狙いとして「せいで再発見！地域づくりグランプリ」を開催しています。



平成22年度地域づくり人養成講座

平成21年度は「祭」、平成22年度は「食」をテーマとしましたが、今年度は「地域づくり活動」をテーマとし、開催に向けて取り組みを進めています。今年度のテーマは、地域づくり活動を推進している団体の多くがその地域のみで活動していることから、地域外に情報が流れず交流が図られていないため、情報の共有化・相互理解・団体間の交流の活発化が必要であると考え、設定しました。

このグランプリでは、審査委員としてセンターでお世話になった若松進一さん、前田眞さんにもご協力いただいております。センターでの経験・人のつながりを非常に有り難く思っているところですが、

若松さん、前田さんのような外部の方に審査、評価していただくことよって、自分たちの活動のすばらしさを再認識し、誇りが生まれるとともに、活動団体相互が切磋琢磨することにより、地域の一体感が向上し、地域の活性化につながるものと期待しています。

地域の自慢を募集します、ぜひ応募ください。

募集テーマ

地域づくり活動

せいで再発見！
地域づくりグランプリ

おわりに

センターでの二年間はセンターの職員の皆さんに支えられ、様々なことを学ばせていただくとともに、様々な方とのつながりを得ることができました。西予市職員として、この経験は今後につながるものであると確信しております。実際、センターでの経験から、市では企画調整課地域振興係という「地域づくり」に関わりの深い業務に就き、地域の活性化に向けて日々励んでいます。

最後になりましたが、二年間という短い間でしたが、お世話になった方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。